

市民と議員の懇談会

新ごみ処理施設整備とごみ処理方法について

質 問

Q 1 建設費（盛土）の計画は、どのように決めているのか。

A 1 新ごみ処理施設の建設計画についての詳細はまだ決定しておりませんが、現時点では、令和6年5月に「新ごみ処理施設整備基本構想」を策定しました。この構想では、施設を整備する際の基本的な方針を決定いたしました。

今後、新施設の整備主体である「川島桶川資源循環組合」において、施設整備の基本計画などを策定する中で、盛土も含めた建設用地の造成の計画をしていく予定です。

Q 2 修繕費はどのように振り分けるのか。

A 2 新ごみ処理施設ができた後の、修繕費などの施設維持管理費については、各市町が新施設に搬入するごみの量に応じて、各市町が負担することとなります。

また、施設の大規模な改修等に係る経費の負担については、組合及び構成市町で協議の上、定めます。

Q 3 用地の費用はどのくらいかかるのか。

A 3 ごみ処理施設建設の詳細が決定していないことから、現時点では算出できませんが、令和6年5月に策定した「新ごみ処理施設整備基本構想」においては、建設候補地を川島町三保谷宿南地区内、敷地範囲は約5haとしております。

Q 4 東松山市が抜けた理由

A 4 令和3年より、3市町による勉強会を行ってきましたが、東松山市としては、ごみの搬送距離が大きく増加することにより中継施設の設置費・運営費の負担増加が見込まれることなど「財政面のメリットが見出せないことから、協議会に参画することは難しいとの判断に至った」とのことです。

要 望

- ・名称について、人口の多いほうが、先になるのではないか。（名称は大事）
- ・維持費の8割を桶川市が負担するのに、代表が川島町長。管理者を桶川市長にして欲しい。
- ・協議会で決まっている事項が多いので、議員は早く動いたほうがいい。議員は、もっと一般質問をしてほしい。
- ・一日でも早く完成をするように、議員は取り組んでほしい。
- ・上尾伊奈の焼却施設は、伊奈町の土地に造るが、名称を上尾伊奈として上尾は強気だ。
- ・協議会メンバーが、町長と市長の2人だけで話しをしているがこれでいいのか。市民の声が届かないのでは。
- ・川島桶川の方が、語呂が良い。
- ・紙おむつの使用が増えているので、紙オムツのリサイクルを考えたほうが良いのでは。リサイクルをしてほしい。他市の事例を参考にして、今回の事業に入れてほしい。
- ・市民をオブザーバーとして入れてほしい。
- ・管理者は、川島町の町長でいいと思う。
- ・議員数4人は、なぜ同数なのか。➡議長が答える
- ・議員の数が同数だと管理者のチェックが出来ないのでは。（議長が桶川だと議員数が少ないので）
- ・もっと、焼却施設のイメージを出して議会報告会をやってほしい。
- ・懇談会時に技術的な話もしてほしかった。「我々はこう考える」を出してほしかった。
- ・プロポーザルの時点で、もっと、しっかりと構想を出すべき。（基本的な事項を押さえる）
- ・資源化も科学技術の発展と共に、進化しているので頭に入れておくべき。
- ・ごみの分け方を考えたほうが良い。
- ・現在、ごみを他市に持っていくのは問題ないのか心配です。➡大丈夫です。